

平成十八年度 第四十三号

禮 送

東京農業大学

庭球部OB会

農友会硬式庭球部

巻頭言

ごあいさつ

部長 大矢 四十六

今年のリーグ戦は、男子が四部二位、女子が二部三位となった。男女共に惜しい結果であった。男子は三部との入替戦であと一息のところまで昇格を逃した。女子はわずかの差で一部との入替戦進出を逃した。とは言え、女子は史上最上位の素晴らしい成績である。男子も精一杯の努力の成果である。男女共に結果を振り返り、来年に継いで頂きたい。

今年は男子入替戦を含む多くの試合の応援に行くことが出来た。どの試合にもたくさんのOB・OGに応援に来ていただいていた。特に最近卒業の若い方達が現役以上に声援を送っていたのが印象的であった。ウィークデーのお忙しい中、時間を割いて応援いただき、ありがとうございます。

リーグ戦終了後、水野幸治氏が監督を辞され、昭和六十二年卒の安藤貴章氏に監督をお引受けいただいた。水野監督には、長い間ご指導をいただき、ありがとうございます。部員一同と共に厚く御礼申し上げる次第であります。

念願のコート改修が十二月中旬からいよいよ始まり、二月中頃までには完成の予定です。ご尽力いただいた前部長の檜垣先生、百周年記念事業としてコート改修で寄付をいただいた常盤松テニスクラブの雪村会長をはじめ会員の皆様深く感謝致しますと共に厚く御礼を申し上げます。

部員にはこれを期に益々の躍進に向かって精進願いたく思います。また会員の皆様には、変わらぬ御支援、ご協力をお願いする次第であります。

生涯スポーツテニス

OB会長 雪村 脩

今年の夏に思いもかけぬ、農大テニス部OBの青木先輩より、電話がありました。

「躍進を見て雪村を思い出した。ラケットを持って、テニスをやりたくないか。二人で来てもらいたい、一人は農大卒者でなくても良い」ということでした。

私は久々に聞く青木先輩の声の懐かしさに強く感動をしました。本当に有難いと思うと同時に、大変に申し訳なく思いました。「一応は元気ですが、今はテニスをしておりません」と返事をしました。

青木先輩は元気でテニスを続けておられる様子でした。

ある時期に和歌山県的那須さんと、関西地方に東京農大OB会を計画したこともありましたが、計画だけで終わりました。実際に就職した職場でテニスを続けることは、仕事との関係なかなか困難です。

私は幸いに、定年退職まで広島市でテニスを続けました。

それは職場の先輩達が戦後に瓦礫の高校グラウンドを整備して、コート二面を造成して始めたと聞きました。そのことがあり、高校も土曜日の午後と、日曜日は開放してもらいテニスを続けました。

時には学生達のコーチや、共にやったそうでした。

皆さん軟式ですが、実業団でしばしば全国大会に出場した人々でした。

軟式流で硬式です。上手でした。

私は東京農大で学んだテニスをしましたが勝てませんでした。とにかく反応が速いので、このコースなら大丈夫と思って返球しても、コース上で待っているのです。いわゆる読まれていました。

私はロブで続けて勝ちを知りました。

退職後広島から竹原市に帰りました。竹原には当時硬式をやる人も無く、遠のいていきました。今思えばこの時期何とか続けていれば良かったと思いました。

テニスは「生涯スポーツです。」続けること、意味は少し違いますが、「相手より一球多く打つこと」だと思います。



監督就任にあたり

監督 安藤 貴章

前監督水野幸治氏は六年間監督を勤められましたが、本年度で退任されました。水野監督には家庭の事情ということで監督を引かれましたが、監督就任中には多くの功績を挙げられました。現役部員に対しては技術面や精神面にわたり一方なる指導や支援を戴きましたことを部員に代わって厚くお礼申し上げます。

このたび、水野監督の後任としてOB会より選任を頂きまして監督に就任致しました。歴史ある庭球部の監督を仰せつかい、光榮に思うと同時に責任の重さを痛感しています。

微力非才の身ではございますが、庭球部の伝統を継承し更なる発展に微力ながらご助力できれば幸いです。

現役部員は男子3部昇格、女子1部昇格の目標を掲げて日々コートで汗を流し頑張っています。そして躍進するために更なる努力をする所存です。

これまでと同様に皆様のご協力を心からお願い申し上げ、新任のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました・・・。

前監督 水野 幸治

この度、監督を退任させていただくことになりました。2000年からみなさまには多大なるご支援・ご協力をいただきありがとうございました。

就任当初は松垣部長・宇野副会長・松田先輩に大変お世話になり、女子部指導では安藤先輩・富田先輩・大麻さん・青山さん(旧姓高橋さん)・島尾さんに、男子部指導では遠藤先輩・末田さん・堀内さん・山岸さん・犬飼さんにご尽力いただきました。

スカウト関係では北から小谷地先輩・那須さん・庭山先輩・青山さん・馬場さん・川田先輩・小場さん・広田さん・吉村先輩にたくさんの情報とご連絡をいただきました。鶴丸先輩・葛城先輩には合宿で大変お世話になりました。そして宮内幹事長にはいつも一緒に考えていただきました。また、在任中にご卒業されたOB・OGの方々にも、楽しい時間をいただきました。

私にとって、とても貴重な足掛け7年間であり100周年の大事業にも関わらせていただきすばらしい財産となりました。本当にありがとうございました。

学生とのかかわりは今までのようには出来ませんが、これからは安藤新監督の下でコーチとして学生のサポートをさせていただきますので、これからもご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

現役諸君は大矢部長、安藤新監督の下、たくさんの方々に支えられていることを忘れずに今を全力で過ごしてください！

安藤監督、テニス部をよろしくお願い致します。みなさま本当にありがとうございました。

引退して

生物企業情報学科 岸 圭一
(群馬 前橋西高等学校)

長いようで短かった3年間、短いようで長かった1年間が終わり、残すところあと4ヶ月で卒業を迎えます。

今年はいと一歩力が及ばず4部残留という結果に終わってしまいました。たぐさんの人に応援して頂き1年間やってきましたが、最後に結果として残せなかったのは本当に申し訳なく思っています。この思いはきつと来年、後輩達が晴らしてくれると思います。1年間、高い意識を持ってやり続けることは難しいことです。でもみんなには、だからこそやり続けて欲しいと願っています。終わった時、部活に入っていたから充実した大学生活になったと思えるよう頑張ってください。この4年間、大矢先生、水野監督、コーチの方々、OBの皆様、たぐさんのご指導ありがとうございました。

「四年間を振り返って」

生物企業情報学科 嶋 津 義 人
(東京 私立玉川学園高等学校)

この四年間を振り返ってみると、本当に色々なことをしてきた様に思う。コート整備、学連、スーパード・ファミレスのアルバイト、農業実習、怪我のリハビリ、ゼミの研究活動、合宿、関東大学テニスリーグ、就職活動等、色々なことをしたが、常に生活の中心はテニスとテニス部だった。テニスがあったから犠牲にしたことはたくさんあったが、それ以上に得たことの方が大きかった。農大テニス部で四年間、テニスを続けることが出来て本当に幸せだった。

しかし、最後の年でありながら三部へ戻る事が出来なかった事は、大変心残りだ。多くの先輩方に「絶対、三部へ戻ります!」と約束したにもかかわらず、望んだ結果にはならなかった。この場をお借りし、

お詫びします。目標を達成することは出来なかったが、上の入れ替え戦にもかかり、あと一歩だったと思う。後輩のみんなには、今年の悪かった部分を改善し、来年こそ三部へ昇格してもらいたい。

来春から、社会人として働く事となるが、テニス部で学んだことを生かし、どんな時も前向きに頑張っていこう。素晴らしい仲間と出会えたこと、百年以上の歴史ある農大テニス部に在籍できたことを誇りに思う。

最後になりましたが、大矢先生、水野監督、支えて下さったOB・OGの先輩方、四年間ありがとうございました。

4年間の部活動を終えて

生物応用科学科 松 本 啓 亮
(千葉 私立東海大学付属浦安高校)

はやいことに入部してから4年という月日が流れました。1年の頃のコート整備やボール拾いなどつらい事もありましたが、今ではいい思い出です。2年3年と漠然と過ぎ、4年になって初めてもつと真剣に取り組めばよかったのかなと感じます。

リーグ戦は昨年、3部から4部に降格しました。私が1年生の頃は2部で、2・3年の頃は3部で、そして4年生では4部で戦いました。降格と残留。私たちの代ではこの2つしか味わっておらず、また昇格を味わっていません。今年こそはという意気込みでやってきましたが、結果は4部残留。これも結果として受け止めるしかないのですが、本当に悔しかったです。幹部としても選手としても、部を引っ張っていただけなかった。ただ悔しい限りです。

今年の4年生は変わり者揃いでした。樹海ホレーの塚定知、スロツト大好き右京大佑、故障王の島津義人、言う事の9割は嘘の小池秀和、でかい熊谷光佑、4年間心を閉ざし続けた大和伸義、整備無欠席の岸圭一、プランカ土井陽介（もういないが）、とまあ様々。やっぱ俺が1番普通の人間だと心底感じます。しかし、このように色々なタイプの人間に出会えたのは、この部活のおかげです。学科の友人とはまた違つて雰囲気と一緒にいて楽しかったと感じます。この他にも、監督や部長やOB・OGと幅広い年齢層の方々と触れ合つことができました。このような経験も、長い歴史を持つ農友会硬式庭球部だからこそだと思います。この経験を社会に出ても活かしていきたいと思ひます。

最後に、今まで私たちを支えてきてくれた方々に深く感謝致します。現役の部員は来年こそ昇格してください。4年間ありがとうございました。

国際センター

醸造科学科 塚 定 知
(長野 私立松商学園高校)

10月14日、リーグ戦で明海に破れ部活としての活動は終わった。終わった今だから言えるが、嫌なこと、楽しいこと色々あったが、いい思い出である。まあ、それも10人位いた仲間達のおかげである。

まずは幹部になり1番大変な役職についてしまった。岸である。彼はかなり温厚な性格でまじめである。1年の仕事などでは彼がいなければ始まらなかつた。主将になり部をまとめなければならなくなり、かなりしんどかつたと思うが、1年間頑張つてくれた。おつかれさま

でした。

次は副将の松本である。松本に初めて会つたのは4年位前であるが、第一印象はアゴである。とにかくアゴが印象的な男であつた。そして彼は何といつても合コンである。合コンでの赤ちゃんぶりは見事であつた。

次は副将の島津である。彼はM.E.スティックと言われるほどMである。はつきりいつて、熱くなつた時の島津ワールドにはついていけない。努力の男である。

次に3年になり蝶に心を奪われてしまつた男である。初めのスロツトはG.O.G.ジャグラーで次に南国育ちである。やたらと光り物が好きである。また彼の頭頂部は告知ランプのように光っている。

次に同じ屋根の下で暮らしている小池である。彼はキレキャラである。彼の言葉は暴力にも匹敵する。時に同じ学年の誰かとは言われないが、泣かせてしまつたくらいである。しかし彼がいなければ、私は単位をもつと落としていたと思つ。感謝である。

次に2回入部した熊谷である。彼は多分テニス部が嫌いである。身長が190cm近いテニス部一の目立ちたがり（いや、ムードメーカー）である。

次に子供ができてしまい途中退部という異例の男、土井である。彼はとにかく悪知恵が働く天才である。また恋の多き男である。女性は土井と目が合つたら逃げることをお勧めする。

次に入部して1ヶ月ほどで腎臓がヤバくて退部した古川である。彼は長崎ではかなりのテニスプレーヤーだつたらしいので残念である。

これでメンバー紹介は以上である。いやもう一人忘れていた。実はテニス部で1番頑張つたといつても過言ではない男、大和である。初

めてテニス部に入りたいと言ってきた時は、同じ長野出身ということ
で私が話をしたが、留学生かと思った。それほど顔が濃い。良く言え
ば平井堅である。彼は今ではテニス部にいないといけない存在になっ
た。テニスも一番上手くなったのも彼かもしれない。このまま練習す
ればウィンブルドンに出れるはずである。

この9人おかげで4年間色々な経験ができていい思い出ができた。結
果こそ残すことはできなかったが、とても充実した時間を過ごすこと
ができた。本当ありがたい。

そして国際センターありがたい。

躍進く育ちから娘へ

国際農業開発学科 右京大 佑

(千葉 私立昭和学院秀英高校)

今年の十月十四日で私はついに農大テニス部を引退した。率直な今
の気持ちは、長くて辛かった。しかし、振り返ってみるとこの四年間
で貴重な体験をたくさん出来たと思う。岩手の悪い人に出会ったこと、
そしてそれがきっかけで救急車に乗ったこと、自称「神」という偉大
な先輩に出会ったこと、パトランプ中毒になった日々。本当にいろん
なことがあったけど、次の人生に活かしていかれたらと思う。

ありがたい農大テニス部！

ありがたい南国育ち！

ありがとうございました

国際農業開発学科 熊谷 光祐

(福島 県立岩瀬農業高等学校)

私は2年生のときに入部した。あのときは今でも覚えている。
コートには竹島さんと大和が二人だけで、なぜか3番コートでラリー
をしていた。鬼のような榎並さんに呼ばれ、軽く「入りたいの？」と
言われた。気まずい時間が過ぎると・・・松本が遠くのほうから「今
頃くるんじゃねえよ」と毒をはいていた。入れないかなと思ってい
ると、石川さんが「いんじゃない」といつてくれたおかげで、入部でき
た。

入部してから引退に至るまで、本気でテニスに取り組んだ期間は、
4年になってからだ。4年生になってからは結構テニスした。試合を
するのは嫌いだが練習は好きだった。他の部員には及ばないがある程
度までうまくなった。テニスが好きになれたのもうまくなれたのも嶋
津の義理のおかげだ。ピークの時、嶋津はいつテニスに誘っても、デ
ート以外だったら、相手をしてくれた。彼とよくやったポイント勝負
では、たぶん200対20くらいで俺の負けだ。そのくらい実力に差が
あったが義理で俺と練習してくれた。バファリンと一緒に嶋津の半分
は義理でできている。もう半分は乳輪でできている。

幹部になってからがたいへんだった。テニス部の雑用担当としてあ
る人にはマネージャーと連呼され、またある人とは時期がくると彼女
よりも連絡をとらなければいけない。よく彼氏だろといじられた。も
うあの恐怖の着信音がなくなると平和だ。幹部の間であの着信音
は代々引き継いでいってほしい。

大学に入ってテニスをするか迷ったが、今はテニス部に入ってよかったと思っている。そう思えるのも、よく練習に誘ってくれた鈴木さんであり、岸であったり、小池であったりする。これからも彼らといい付き合いをしていきたい。そして、水野さんをはじめとした諸先輩方、短い時間でしたがお世話になりました。これからもテニスに関わられていったら良いなと思います。本当にありがとうございます。部員のみんなありがとうございます。

あはよバイン！

躍進

醸造科学科 小池 秀和

(福岡 九州国際大学付属高校)

今回の最後の躍進。

来春からは学生から社会人へと躍進していかなければならないという事実を今、迎え改めてこの4年間を簡単に振り返ろうと思う。

この4年間の始まり、つまり入部のきっかけは、ただテニス競技そのものに興味があったのと、大学での華やかな生活で、テニスは欠かさないだろう！的なミーハーでナルシストな考えがあったからである。

しかしやはりそう甘くなく、その考えを引っ下げていざ盛大テニス部を叩いた結果、ほんとに入部したら見事に自分の想像とはかけ離れた現実の扉を開いた。ほんとにゲーム狂やオーバリアクション、しかも人オチや個性が強い奴らばかりで、ほんとその時は間違っていた。ほんとに悔しい気持ちになっていたのだから、ほんとおかしな

ものだ。

でも、理由はちゃんとあつて、ほんと自分は今になって言えるが、いい先輩・後輩そして同期に恵まれたと思う。仲間がいたからこそ、頑張れたと思う。この4年間の歳月、ほんと喜怒哀楽たくさんあつたが、常に笑えていたと思う。長くも短かつたこの4年は自分の中でほんとかけがえのないものとなった。

そして来年からは晴れて社会人。テニスで学んだ行動力、忍耐力、精神力をもつてして、新しい環境で精一杯頑張っていきたいと思う。ほんと4年間どうもありがとうございます。

4年間

食料環境経済学科 大和 伸義

(長野 松本筑摩高等学校)

天気を常に気にしながら過ごしていたあの頃が今は懐かしく感じます。もう晴れてようが雨だろうが気にしなくていいのかと思うと、寂しさを感じます。10月14日の明海大学との入替戦を最後に、テニス部を引退することになりました。

振り返れば、4年間本当にいろんな大変さを経験しました。入部した当初は、テニスの経験も過去に全くなく、自分よりも、同期も先輩も年下という事で、相当抵抗がありました。結果を残して大学に選ばれて入ってきた人達と一緒にテニスをするのは、実力も明白で肩身のも得意ではなかったので、苦労も多く我慢することも多かった。数えたらきりがなく人並以上の苦しさを経験しました。本当に、

ただ耐えた4年間でした。

正直、テニスをやっている以上は、自分なりに結果を残したかったです。結果を残せず、悔しさや未練もあります。しかし途中、何度も挫折そうになりましたが、最後まで部活を辞めずに続けてこれて満足しています。最後に、色々な意味で、支えてくれた人達に今は感謝しています。今後は部活動の経験を糧に、これからも頑張っていきたいと思います。

最高のチーム

生物企業情報学科 田中麻衣
(埼玉 県立伊奈学園総合高等学校)

リーグ戦が終わり、一月が過ぎた。四年間、長いようで短かった。いや、短いようで長かった。農大テニス部を引退した。引退してテニスから離れ、空っぽになった自分に気づく。大学生生活をどれほどテニス部にささげていたのか今になってわかった。私の大学生活は農大テニス部無しでは語れない。

四年間振り返ってみると辛いことばかりだった。毎日のようにコートに来て朝早くからコート整備をした一年目。一年生の仕事から解放された二年目には、はじめて関東学生になることが出来た。思うように結果が出ず伸び悩んだ三年目。そして今年、主将として戦った四年目。

大学最後のリーグ戦。去年の十月幹部を交代して一年間コーチの安藤さんと島尾さん、幹部三人、後輩十一人で作り上げてきたチーム。

このチームで最後まで戦ってそして二部で三位という結果を残すこと

が出来た。本当に嬉しかった。選手はもちろん、応援、審判、ボーラー、みんながよく頑張った結果だと思ふ。幹部として、主将として過ごしたこの一年は本当に濃い一年だった。コートに沢山怒られた。後輩とぶつかったこともあった。でもそんな時支えてくれたのは一年生からずっと一緒に過ごしてきた同期のみづほと恵玲奈だった。最後のリーグ、みづほと一緒にレギュラーとして戦えたこと、とても嬉しかったよ。努力していたと思ふし、いろんな葛藤があったと思ふ。テニスについて、いっぱい話したよね。どうしてもマイナス思考に考えがちなみづぼだからプラスの影響を与えたいと思つた。下級生だった三年間よりも幹部として過ごした一年間でみづぼは本当に成長したと思ふ。心強かったよ、ありがと。恵玲奈は何でも話せて精神的に支えてもらった気がする。帰りの電車ではいろんな話を話したね。二人で泣いたときもあったね。主将と選手の立場で切り替えがうまく行かなかったとき恵玲奈が相談にのってくれたから私は選手に専念することができました。本当にありがと。一年間本当にしんどかったけど三人だから頑張れた。すぐ泣くし、頼りない主将だったけど最後まで私についてきてくれてありがと。私は本当に同期に恵まれたと思ひます。そして三人そろって引退できて本当に嬉しいよ。辛い気持ちを一緒に乗り越えてきたからこそ今年のリーグ戦は本当に勝ちたかったね。最後までついてきてくれた十一人の後輩達にも感謝。一年生はリーグ戦がどんなものなのかよくわからない中、審判やボーラーを必死に頑張ってくれていたと思ひます。レギュラーだった志岐と佐藤もチームの勝ちに貢献してくれたね。新しい一年生が入ってレギュラー争いが熾烈になると思ふけど来年も期待しています。大井、丸山、服部、小柳も来年こそは選手としてコートに立てるように一年間頑張ってく

ださい。皆それぞれいい部分をもっているから自分の可能性を信じて歩んでいってほしい。伊代田は初戦怪我で出られなくて悔しい思いをしたけど、残りの試合は本当によく戦ってくれたね。これからは主力選手としてチームを牽引してください。自分に自信をもってね。太田は今年のリーグ戦はレフェリーとして大変なポジションを頑張ってくれてありがとう。最終戦で選手としてコートに立って試合をしたことを絶対に忘れないで自分に誇りをもってプレーしてください。任は合宿に来られなかったりいろいろあったけど、リーグ本番では必死に応援してくれたたり2年生ながら審判やボーラーを一生懸命頑張ってくれたね。まだまだ伸びる時期だから自分を信じて自分の道を進んでいって下さい。菲沢も怪我があつてサポートに徹してくれてありがとう。ちよつとしたところに気づくことができる菲沢に、沢山助けられたよ。これからは幹部として引つ張らないとならないけど、くじけそうになつたときは下を向かないで同期と一緒に前だけ見てほしい。菲沢なら頑張れる！だつて根性あるもん。中村は去年に続き今年も本当に厳しいポイントでよく戦ってくれたね。リーグではダブルスは組めなかつたけど最高のパートナーだつたよ。これからは主将としてみんなの先頭にたつて頑張つてほしい。この個性的な後輩達をまとめられるのは中村しか居ないと思うし、中村ならいいチームにできると思う。

可愛い後輩達に私が常に心に思っていた言葉を送ります。

『努力をした人間がすべて成功するわけではないが、努力をしないことには成功はない。』

心から応援しています。頑張ってください。

私たちは本当に多くのOB、OG、関係者の方々に応援されてここまで戦い抜くことができました。私たちだけでは決して成しえなかつ

たと思います。応援に来ていただいた皆様、遠方からエールを送ってください。関係者の皆様、今まで本当にありがとうございました。大矢先生を初め監督、コーチ、OB、OGの皆様、これからも後輩達のご指導・鞭撻を宜しくお願いします。

感謝の言葉

生物企業情報学科 富田 みづほ

(東京 都立豊島高等学校)

引退してから約一ヶ月が経った。これまでの生活とは一変し、時間がゆっくり流れている気がする。それもそのはずだ。この一年はとにかくテニス漬けの毎日を送ってきた。朝起きてテニス、ご飯を食べたらテニス、次の日起きたらまたテニス、テニステニステニス……。決して楽ではなかつたし、いつ辞めようか考えたこともたくさんある。でもこれほどまでにひとつの事に向き合い一生懸命になつたのは初めてだつたと思う。四年間の集大成である最後のリーグ戦では、初めて試合に勝つことが出来た。これは四年間を通しての目標であつた。自分が試合に出て、しかも勝利するなんて、一年前の自分では想像も出来なかつた。この一年で変わったのは決して自分自身だけの力では無く、厳しくて逃げ出しても最後まで面倒を見て励まし支えてくれた人達のおかげだと思う。四年間、苦楽を共にした二人の仲間にも感謝している。

田中麻衣は、ここで泣くか？という場面ですごく涙を流す筋金入りの泣き虫であるが、テニスにおいては一年の時から単複レギュラーで、その立場に驕らずに努力を惜しまない姿勢に尊敬し、私はひ

そかに憧れを抱いていた。麻衣に勝つことを目標にしていたが、最後まで勝てずに終わってしまった。

杉山恵玲奈は、私が言うのも何だが、この四年間で一番成長した気がする。部活というものが初めてだったらしく一年の頃は随分と戸惑っていたように見えた。心配したこともあったが、実は一番の負けず嫌いだっただようで、何事にも手を抜かずに一生懸命だった。今では私も麻衣も恵玲奈を頼りにしている。

私達は決して仲良し三人組ではなかった。休みを使って遊ぶ気にはならなかったし、性格もそれぞれ。部活が一緒じゃなかったらおそろく出会うことはなかったと思う。しかし、何かの縁で同じ部活に入り、家族よりも長い時間を共有し、切磋琢磨し合って、ここまでくることが出来たのは、きつとこの三人だからこそだと思ふ。

四年間を振り返ると、本当にたくさんの人たちに支えられていたと本当に思う。良い同期に恵まれ、楽しい先輩、可愛い後輩、そして時に厳しく最後まで面倒を見てくれた大矢部長、安藤さん島尾さんをはじめとしたコーチ、OB、OGの皆さんには心からの感謝を送りたいと思ふ。

本当にありがとうございました。

野望

生物企業情報学科 杉山恵玲奈

(東京 私立川村高等学校)

毎年これを書くごとに、四年になったらあれを書こう、こんな風な書き方をしてみよう、あつ最後だしこれも書きたいなくなってる思っていたりして、それなりにシナリオも考えていた。

でもいざ書こうと思つと何を書いたらよいのやら。入学のきっかけからこの四年間の思い出を書き始めたらページ数はかせげるが・・・どうせなら去年のうちに書いておけば良かったって本気で思っていたりする。

独り言で行を無駄遣いしてしまったところで、とりあえず振り返ってみよう。

2003年 入学

天気予報に詳しくなる

晴れ女の効力がなくなってくる

山手線が嫌いになる(自由の始発は4時36分です)

2004年

整備から開放されると思いきや・・・

五時間半のシングルの試合(これにより自信がついた反面、つまらないブレースタイルになるきつかけとなる)

2005年

1年下の後輩がいなくなる

さらに同期も減る

幹部交代

2006年

ミーティング

ミーティング

ミーティング

とつてもごんよりした年表だ。そもそも辛いことや苦しかったことが一番思い出になりやすいといわれているが、だとしたらこの年表はとでもわかりやすい。というよりこの四年間の思い出はめっちゃくちゃ濃くなってしまう。きつと、おはあちゃんになってボケたとしても、大学の思い出はなかなか忘れないで、昔はあーだったーこーだったー。*☆~羊&#◆・・など普話に花を咲かせ周囲に嫌がられるのだろ。

とりあえず、この4年間、躍進したかどうか今はわからない。でも5年、10年経って、充実した大学生活を送れてよかったねって思えたら素敵だと思う。

最後になったが、この先の躍進予定を書いておく。

2054年 農友会硬式庭球部創立150周年記念式典

久々に参加する部活の行事。そこで、かつて関東学生で、女子部のエースだったらしい麻衣はあちゃんと、怪力で有名だったらしいみづほはあちゃんと再会し、かつての男子コートで現役の迷惑願みずテニスをやることとなる。調子に乗った三人は試合をやってみる。

そして・・・見事快勝☆

さらにこの後、何歳になられてるかわかりませんが、OBの富田さんにもリベンジする予定なのでその際はよろしくお願いいたします☆

OB会だより

◎ 活動報告 (平成十八年)

2・5 送別会

4・16 コート開き OB総会

12・2 納会

◎ 新入会員の紹介

岸 圭一 (生物企業情報学科)

塚 定知 (醸造科学科)

嶋津義人 (生物企業情報学科)

松本啓亮 (生物応用科学化)

熊谷光祐 (国際農業開発学科)

小池秀和 (醸造科学科)

右京大佑 (国際農業開発学科)

大和伸義 (食料環境経済学科)

田中 麻衣 (生物企業情報学科)

杉山恵玲奈 (生物企業情報学科)

富田みづほ (生物企業情報学科)

さらば先輩

岸 圭一さん (企業) 元祖200! 登頂部が:

塚 定知さん (醸造) 樹海ホレー ベカリ大好き

嶋津 義人さん (企業) ミスター禁欲男

松本 啓亮さん (化学) デンプシー松本 赤ちゃん赤ちゃん

熊谷 光祐さん (開発) 「フォル…いや、フォ…」

はい、ジャンカジャンカ♪

小池 秀和さん (醸造) 天上天下唯我独尊小池秀和

右京 大佑さん (開発) 頭キューーン…!

大和 伸義さん (経済) ゲッツのできる平井堅

田中 麻衣さん (企業) お泊り厳禁!

杉山 恵玲奈さん (企業) グリップにぎにぎ☆

富田 みづほさん (企業) もう吐きません!!

